

歴史書



11
2013
No. 210

通信

3・11東日本大震災と歴史文化遺産のレスキュー活動／木村 茂光

歴史書新刊ニュース〈9・10月〉

歴史書以外の人文社会図書新刊案内〈9・10月〉

歴史書懇話会

3・11東日本大震災と歴史文化遺産のレスキュー活動

木村 茂光

(帝京大学文学部)

3・11東日本大震災が起つてから二年半が過ぎた。地震・津波・原発事故という複合的な原因による大災害の被害は、政府などの「復旧・復興」などというスローガンとは裏腹に、現実は瓦礫の撤去もままならず、仮設住宅から出ることができない被災者が多数残されているという悲惨な状況が続いている。

私が属する日本学術会議も被災地の「復旧・復興」に向けてのさまざまな提案や取り組みを積極的に行っているが、このような厳しい現実の中では、依然原発事故への対応、エネルギー問題、さらには被災地の復興計画などを中心的な課題として取り組まなければならない状況が続いている。被災地の方々の生活の一刻も早い回復を考えると、なによりも取り組まなければならない課題であろう。

その一方で、私たち歴史学関係者が被災地の文化や歴史を復旧する上で不可欠であると考えている古文書・考古資料などの歴史文化遺産のレスキューは中心的な課題にはならず、ほとんど進展していないのが実状である。例えば、文化庁は平成23年度と24年度に「文化財レスキュー事業」に取り組んだが、25年4月に

「文化財レスキュー事業」の発展的解消について」という文化庁長官の声明を出して終息した。また、独立行政法人国立公文書館も様々な工夫と努力をしながら同じ二年間に公文書を中心としたレスキュー活動を行ったが、本年度その事業を継続できるかどうかは不明であるという(6月の時点)。これら以外にも全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、国文学研究資料館なども積極的に取り組んだが、前者の場合、その活動の中心であった東日本大震災臨時委員会は本年3月末をもって活動を終了している。

では、これら被災した歴史文化遺産のレスキューはどうなっているのであろうか。現段階では、阪神・淡路大震災を契機に設立された各地の「史料ネット」がそれを担っているというのが実状であろう。「史料ネット」は神戸大学の奥村弘氏らが中心になって設立した組織だが、その後、各地の水害や地震による被害から歴史文化遺産を救出すべく、新潟や島根や岡山・福井・宮城などで設立され、多くの成果を上げていることは周知の事実である。なかにはNPO法人化したものもあるが多くはまだボランティア組織のままである。

3・11以後は被災地である宮城に続いて岩手・福島・茨城にも設立され、ボランティアの参加と有志の寄附に頼りながら地域の文化遺産のレスキュー活動に取り組んでいる。

今年になって、「茨城史料ネット」の活動に参加する機会があったので、その活動内容を少々紹介しよう。このように書くと茨城県は津波被害もなく原発事故の影響もあまりないのに、なぜ「史料ネット」が設立されたのかと思う方も多いであろう。実はそれが事実誤認なのである。文化庁の調査に拠れば、「国指定等文化財」の被害数、全国で744件のうち茨城県はなんと四分の一の182件を占めているのである。実際は津波の影響もあったが、多くは地震による施設・土蔵・家屋の崩壊・半壊などに起因する被害である。それらをレスキューするために設立されたのであった。

活動は事務局が置かれている茨城大学人文学部の一室で毎週水曜日の午後に行われる。それ以前に、レスキューの要請があった文化遺産所蔵者のお宅に伺い被災した史資料を段ボールなどに整理して茨城大学に運び込むという仕事がある（活動の初期は被災を受けたお宅を一軒一軒回って、被災した史資料の救出を申し出たという）。運び込まれた史資料を、元の所在場所を確認しつつ一点ずつの目録取り（日付・史料名・形状・紙質・特記事項など）、一枚ごとの写真撮影などの作業を、20名前後の参加者で分担しながら行う。

私が「茨城史料ネット」に参加し



「茨城史料ネット」の作業風景

て驚いたのは、もちろん指導する教員もいるが、活動のほとんどが大学院生と学生、それに私のようなボランティアによって行われていることである。とくに中心になっている大学院生（なんと修士課程、茨城大学には博士課程はない）の指導力の高さには驚かされた。作業の段取りといい、仕事の分担といい、まさに「堂に入っている」のである。また、学生への史料読解などの援助もしっかりしている。学生も指示通りできぱきと仕事をこなしていく様は惚れ惚れするほどである。課題や使命感をもちきっちと指導すれば、優秀な院生や学生は自ずと出てくるものだということを実感した。さらに前回参加した時、女子高校生二人がボランティアとして参加していたのにも驚かされた。誰かが「次回も来るの？」と聞いたところ、「受験の模試があるので参加できません」と答えていたのは妙に現実感があって微笑ましかった。

私がこのような話を長々と書いたのは「茨城史料ネット」の活動を褒めるためだけではない。真意は、このような院生・学生・高校生そして

私たちのようなボランティアによって、被災した歴史文化遺産のレスキューが進められているという事実を知ってほしいという点にある。被災し失滅した文化遺産の全体的な数さえ確認できていない状況のなかで、文化庁がなにをもって「レスキュー事業」を発展的に解消したのか理解しかねるが、茨城だけでなく、岩手でも宮城・福島でも、形態は若干異なるにしても、多くの院生・学生・ボランティアらの活動によって歴史文化遺産のレスキュー活動は現在も営々と続けられているのである。日本の歴史文化遺産を守るという国民的な重要課題を「史料ネット」を初めとするボランティア活動に任せただけでよいのだろうか。国の復興予算の歴史文化遺産を思うに付け、どこかでなにかが間違っていると思わざるを得ない。

万が一、担い手や資金の激減によって彼らの活動が止まってしまうと、被災した多くの文化遺産はこのまま失滅してしまうか、泥棒や悪質な骨董屋の手許に流れていってしまうのである。一度失滅した文化遺産は復旧することはできない。ということはその地域の伝統文化や歴史文化も復旧することはできないことになるのである。なんと恐ろしくかつ重要な責務が「史料ネット」らの活動に委ねられているのであろうか。ある研究者がこのような政府や文化

府などの対応を「日本のDNAを失滅させるようなものだ」といついたが、納得のいく発言である。

3・11東日本大震災によって被災した歴史文化遺産のレスキューはまだ「終息」していない。事態は逆で、これから必死になって、被災し失滅した文化遺産の全体像を明らかにする活動を進めなければならない。そして同時に、3・11に学んでその活動を実行し推進する体制を一刻も早く作り上げなければならない。そうしなければ、今後想定されている東海・南海沖の地震と津波によって被害を受けるに違いない、その地域の歴史文化遺産を救出することは絶対にできないと考える。

私は、被災地の歴史と伝統文化を復旧することは、被災地の人々の生活を復旧・復興することに大きく寄与するものと確信している。いまこそ、被災地の歴史文化遺産のレスキューに本格的に取り組まなければならない時期だと考える。多くの叡智を集め、一刻も早く実現しなければならない、と考えるのは私だけであるまい。
(きむら しげみつ)

(表紙写真) 古文書の保全・整理(『東日本大震災 鹿嶋市の津波被害と救出された龍藏院の文化財』鹿嶋市教育委員会・茨城史料ネット編集／財団法人上廣倫理財団発行、2013年より)

新刊ニュース

9・10月発行図書

*発売は予定のものもあります

歴史一般

辞典／年表・地図／歴史学・補助学

京都地名語源辞典

吉田金彦・糸井通浩・網本逸雄編

A 5 判 640頁 9,240円

東京堂出版〔10月刊〕

地名研究の立場から京都地名の「語源」に迫るこれまでにない辞典。京都府の地名約2,500項目を収録。巻頭に、京都の地名についての概説も付す。

978-4-490-10841-5

考古学

概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

イヌの考古学

ものが語る歴史30

内山幸子著

A 5 判 296頁 予価5,880円

同成社〔10月刊〕

愛玩対象のみならず、狩猟や運搬手段、またある時は食料資源にも供された最古の家畜イヌと人と的一万年にわたる長い歴史を解明。

978-4-88621-645-8

長岡京の歴史考古学研究

國下多美樹著

A 5 判 338頁 12,600円

吉川弘文館〔10月刊〕

短命ながら転換期の重要な都城として注目される長岡京。唐を手本とした統治理念や專制君主の都としての実像を追究し都市計画に迫る。

978-4-642-04609-1

人々の暮らしと社会

古墳時代の考古学6

一瀬和夫・福永伸哉・北條芳隆編

B 5 判 264頁 6,300円

同成社〔10月刊〕

古墳時代の人々はいかに生活し、何を考え、どのような社会を形成していたのか。最新の発掘調査成果に基づき多様な視点から考察する。

978-4-88621-649-6

概説 韓国考古学

韓国考古学会編

A 5 判 520頁 5,040円

同成社〔9月刊〕

韓国考古学会が総力を結集して編んだ最新の概説書。経済発展に伴う膨大な発掘・研究成果を盛り込み、さらに充実した改訂版の全訳。

978-4-88621-639-7

イタリアの世界文化遺産を歩く

藤本強・青柳正規編

四六判 288頁 2,520円

同成社〔10月刊〕

世界で最多の世界文化遺産を有するイタリア。その主要な遺跡を訪ね歩き、それぞれの歴史や性格を美麗な写真とともに紹介する。

978-4-88621-648-9

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

明治時代史大辞典 4

補遺・付録・索引

宮地正人・佐藤能丸・櫻井良樹編

四六倍判 912頁 21,000円 吉川弘文館〔9月刊〕

約9500項目を詳細・正確に解説した、激動の時代を理解するための総合歴史大辞典、最終巻。補遺・付録・索引を収録する。

978-4-642-01464-9

新刊ニュース（日本史）

摂関政治と菅原道真

敗者の日本史3

今 正秀著

四六判 256頁 2,730円

吉川弘文館〔9月刊〕

両者は対立していたのか？ 道真が残した漢詩を読み解きつつ、「詩臣」としての行跡と、摂関政治の成立を探る。通説を問い合わせる新見解！ 978-4-642-06449-1

足利尊氏と関東

人をあるく

清水克行著

A5判 178頁 2,100円

吉川弘文館〔10月刊〕

天下の逆賊か、病める貴公子か—。時代に翻弄された人物評価を再考する。尊氏ゆかりの足利や鎌倉を訪ね、等身大の実像を探り出す。 978-4-642-06772-0

坂本龍馬と京都

人をあるく

佐々木 克著

A5判 160頁 2,100円

吉川弘文館〔10月刊〕

維新研究の第一人が熱い思いで描く龍馬伝。寺田屋・京都御所・二条城・酢屋など京都の『龍馬』、史跡巡りを豊かにするファン必携の書。 978-4-642-06773-7

親鸞と東国

人をあるく

今井雅晴著

A5判 144頁 2,100円

吉川弘文館〔10月刊〕

日本最大の宗派を築いた聖人の生涯！ 稲田西念寺・大部真寺・高田専修寺など、東国各地に残る親鸞の足跡から新たな人物像を描く。 978-4-642-06771-3

大化革新と蘇我氏

敗者の日本史1

遠山美都男著

四六判 276頁 2,730円

吉川弘文館〔10月刊〕

蘇我氏はなぜ滅ぼされたのか。勝者による『日本書紀』は稀代の逆臣をいかに創出したのか。敗者から見えてくる「大化革新」像に迫る。 978-4-642-06447-7

新訂 太平記 第一巻

太平記研究会編

A5判 368頁 3,360円

東京堂出版〔10月刊〕

日本文学研究者が、『太平記』を読むために新たに校訂し、歴史研究者があらすじと歴史的背景などを章段ごとに解説を加えた1冊。 978-4-490-30704-7

日本書紀研究

横田健一先生追悼号

日本書紀研究会編

A5判 312頁 9,450円

第29冊

培文房〔10月刊〕

現存史籍最古の『日本書紀』を、考古学・民俗学・文化人類学等、学的な関心により多側面から検討した各論文を収載。28巻に続き「横田健一先生追悼号」。978-4-8273-1529-5

史書を読む

読みなおす日本史

坂本太郎著

四六判 246頁 2,205円

吉川弘文館〔9月刊〕

古代から近代にいたる様々な歴史書29編をとりあげる。エピソードを盛り込みながら成立事情やその性格、面白さをわかりやすく紹介。 978-4-642-06398-2

熊襲は列島を席巻していた

九州倭政權と「蛮族」の実像

内倉武久著

四六判 306頁 2,940円

ミネルヴァ書房〔9月刊〕

蛮族と呼ばれた民の知られざる国家と文化とは。民俗学的成果や考古学的遺物・遺構調査などからそのルーツと実像に迫り、新たな古代国家像を描き出す。 978-4-623-06660-5

若い人に語る 奈良時代の歴史

寺崎保廣著

四六判 270頁 2,940円

吉川弘文館〔9月刊〕

教科書と一味違う古代史の魅力を、独自の視点で再現したユニークな歴史講義。時代の雰囲気が体感でき、新しい奈良時代が見える。 978-4-642-08096-5

奈良の都と天平文化

日本古代の歴史3

西宮秀紀著

四六判 324頁 2,940円

吉川弘文館〔10月刊〕

律令制により国家体制を整備・強化し、正倉院宝物など国際色豊かな文化が花開く寧楽の都。天変地異や疫病と直面する8世紀を描く。 978-4-642-06469-9

莊園史研究ハンドブック

莊園史研究会編

A 5 判 256頁 2,940円

東京堂出版〔10月刊〕

莊園史の流れを概観し、研究上の重要語や個別莊園の見方・捉え方も併せて解説。付録として研究史上重要な基本文献50冊を目次とともに解題す。 978-4-490-20847-4

阿豆流為

夷俘と号すること莫かるべし

樋口知志著

四六判 352頁 3,150円 ミネルヴァ書房〔10月刊〕

国家と蝦夷との戦争において蝦夷軍の総帥として戦い、最後には自ら投降し斬首されて世を去った阿豆流為。長く転戦を重ねながら、征夷の時代を終結させるために、国家制社会との平和・共生のありようを模索し続いたその生涯の実真。 978-4-623-06699-5

武家政権成立史

気候変動と歴史学

磯貝富士男著

A 5 判 186頁 3,360円

吉川弘文館〔9月刊〕

12世紀における気候の冷涼化による社会状況の変化を概観し、保元・平治の乱を素材として追究。気候変動論から時代像を捉え直す。

978-4-642-02916-2

中世都市から城下町へ

中世都市研究18

中世都市研究会編

A 5 判 296頁 3,780円

山川出版社〔9月刊〕

2012年中世都市研究会大阪大会での報告と全体討論、全国の都市・城館研究の最新動向。

978-4-634-16054-5

山名宗全と細川勝元

読みなおす日本史

小川 信著

四六判 232頁 2,310円

吉川弘文館〔10月刊〕

中盤戦の打込みで一挙に勢力を張る山名宗全と確実な布石で大模様をねらう細川勝元。日本史上最大の内戦＝応仁の乱を描いた名著。

978-4-642-06399-9

日本近世の行政と地域社会

歴史科学叢書

吉村豊雄著

A 5 判 532頁 12,600円

校倉書房〔10月刊〕

熊本藩には郡と村の中間区域として「手永」が存在し、藩制下の民政・地方行政の実質を担っていた。それがどのような到達形態に達していたかを論考。 978-4-7517-4490-1

住友の歴史 上巻

朝尾直弘監修／住友史料館編

四六判 286頁 1,785円

思文閣出版〔9月刊〕

近世初頭の銅の精錬から、後に金融・貿易等をも手がけ、近代の財閥につながる豪商の一典型である住友の歴史を紹介。住友精神の源泉がここにある。 978-4-7842-1703-8

幕末期の老中と情報

水野忠精による風聞探索活動を中心に

佐藤隆一著

A 5 判 500頁 9,975円

思文閣出版〔10月刊〕

水野忠精の情報収集を軸に、幕末期の老中にによる政治情報収集の実態とその情報内容、さらにはこれらの扱われ方を実証的に分析。

978-4-7842-1702-1

近世農民日記の研究

高木俊輔著

A 5 判 336頁 9,870円

堀書房〔9月刊〕

大黒屋日記・葦沢家日記・古橋家日記・富沢家日記・門屋養安日記などの日記を通して、個々の農民の生活、村内の生活実態などを描く。

978-4-8273-1262-1

徳川家光

我等は固よりの將軍に候

野村 玄著

四六判 488頁 3,990円 ミネルヴァ書房〔9月刊〕

生い立ちをめぐる苦しみを経て將軍となり、幕府機構を整備する一方、島原の乱鎮圧やキリシタン対策を進める等、江戸幕藩体制の確立に尽力した家光。本書では、その思想と行動から、徳川將軍と江戸幕府の歴史的性格を解明する。 978-4-623-06749-7

近世中国朝鮮交渉史の研究

松浦 章著

A 5 判 320頁 6,300円

思文閣出版〔9月刊〕

明代、清代の中国と朝鮮国との関係について、赴京使や船舶の漂着問題等、従来看過されていた問題を取り上げ、陸路と海路の両面から考察する。 978-4-7842-1709-0

新刊ニュース（日本史）

近代京都の施薬院

八木聖弥著

A 5 判 256頁 3,675円

思文閣出版〔9月刊〕

明治の半ば、施薬院を再興した安藤精軒の生涯を通じて、再興の動機と、実現たらしめた理由等、その経緯を明かす。慈善・医療について改めて世に問う一書。

978-4-7842-1705-2

老農・中井太一郎と農民たちの近代

大島佐知子著

A 5 判 380頁 7,875円

思文閣出版〔10月刊〕

農業の近代化をになった「老農」といわれた農事改良者のひとりで、除草機「太一車」の発明者、中井太一郎の事蹟をたどり彼の技術・思想を明らかにする。

978-4-7842-1710-6

井上勝

職掌は唯クロカネの道作に候

老川慶喜著

四六判 372頁 3,675円 ミネルヴァ書房〔10月刊〕

ちょうど150年前の1863年、ロンドンに密航留学し「採長補短」の精神で西欧の近代技術を学び帰国、鉄道専門官僚となり近代日本の鉄道システムをつくり上げた井上勝。その生涯を鉄道の発展と重ね合わせながら実証的にたどる。

978-4-623-06697-1

レンズが撮らえた150年前の日本

小沢健志監修

菊5 判 176+32頁 1,680円 山川出版社〔9月刊〕

日本の初期写真が写した150年前の人びとの暮らしと生活、そして日本各地の風景は、現在はない。「記憶」から「記録」となる貴重な歴史資料。

978-4-634-15047-8

維新政府の密偵たち

御庭番と警察のあいだ 歴史文化ライブライー-368

大日方純夫著

四六判 256頁 1,890円

吉川弘文館〔9月刊〕

彼らはどう情報収集し、何を報告したのか。膨大な資料から、江戸時代の忍者・隠密と近代警察組織との間に位置する密偵の真相を解明。

978-4-642-05768-4

沖縄と「満州」

沖縄女性史を考える会（代表・伊良部住恵）編

A 5 判 792頁 10,000円

明石書店〔8月刊〕

戦前日本の代表的な移民送出国だった沖縄、沖縄から「満洲一般開拓団」として中国東北部にわたった沖縄県人の現地での生活、苦難の逃遊行、などを当事者への聞き書きを軸に丹念に掘り起こした貴重な記録。「沖縄」「満洲」それぞれの苦難の歩みを現代に伝える。

978-4-7503-3867-5

国際共同研究 韓国強制併合100年 歴史と課題

笹川紀勝・邊英浩監修、都時煥編

A 5 判 499頁 8,000円

明石書店〔8月刊〕

2010年は韓国併合から100年にあたった。日本による韓国併合に至る過程や条約締結にある手綱きのなかでどのような強制があったか。歴史、法律、国際政治など様々な分野の専門家が韓国、中国、日本、米国から参集し、報告・討論を行った国際研究活動記録。

978-4-7503-3869-9

靖国神社と歴史教育

又吉盛清・君塚仁彦・黒尾和久・大森直樹編

A 5 判 224頁 2,500円

明石書店〔8月刊〕

閣僚が参画するたびに韓国・中国など近隣アジアとの摩擦をうむ靖国神社とは、「軍都・東京」の視点による靖国神社を中心にしたフィールドワーク。「国民」を戦争に動員するための装置としての靖国や軍人会館（九段会館）の役割を明らかにする「アンチ」ガイド。

978-4-7503-3868-2

昭和戦時期の海軍と政治

手嶋泰伸著

A 5 判 284頁 9,450円

吉川弘文館〔9月刊〕

日中戦争の拡大や終戦の決定に、海軍の役割を果たした役割とは。米内光政ら海軍将校の行動や、海軍内部の対立関係などから探る。

978-4-642-03825-6

琉球国の滅亡とハワイ移民

歴史文化ライブライー-369

鳥越皓之著

四六判 204頁 1,785円

吉川弘文館〔10月刊〕

沖縄ハワイ移民一世が語った差別・労働・戦争など、等身大の歴史から、「國」のあり方は「人」の生き方にどう関わるのかを考える。

978-4-642-05769-1

南北朝遺文 関東編 第6巻

山田邦明他編

A 5 判 368頁 16,800円

東京堂出版〔10月刊〕

関東14か国の室町時代の文書を網羅的に翻刻する史料集。全7巻。本巻には、永和5年～明徳5年までの16年間・820通余りを収録。

978-4-490-30626-2

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

七番目の百万人

イスラエル人とホロコースト
トム・セゲフ著 脇浜義明訳
A5判 648頁 7,875円 ミネルヴァ書房〔9月刊〕

イスラエル人のアイデンティティ、イデオロギー、政治はいかにホロコーストにより方向付けられているのか。ホロコースト生存者へのインタビュー、多くの日記、機密解除資料などから描き出されるイスラエル建国の歴史。 978-4-623-06694-0

近世イギリスのフォレスト政策

財政封建制の展開
酒井重喜著
A5判 396頁 5,250円 ミネルヴァ書房〔10月刊〕

「緑(ヴァート)と肉(ヴェニソン)」を保護する中世的フォレストは、近世国王財政の補強策として俄に表舞台に立たされた。「狩猟」から「収入」への意義転換を模索する前期スチュアート朝のフォレスト政策に迫る。 978-4-623-06705-3

ナポレオン

世界史リブレット人62
上垣 豊著
A5変型判 100頁(予) 840円 山川出版社〔10月刊〕

近代世界の揺籃期における「英雄」の事業を、最近の研究成果に基づき当時の国際状況・背景を通じてとらえ直す。

978-4-634-35062-5

十字軍の歴史

刀水歴史全書86
A.ジョティッシュキー著 森田安一訳
四六判 450頁 3,990円 刀水書房〔10月刊〕

十字軍運動は繰り返し軍事的に失敗したにも拘わらず、なぜヨーロッパ社会にとって「魅力」であり続けたのか？ ヨーロッパ中世最大のテーマを解明。 978-4-88708-388-2

トランス・アトランティック物語

落合一泰著
A5判 240頁 2,940円 山川出版社〔10月刊〕

メキシコからヨーロッパへ海を渡ることになったアステカ工芸品を通じて、コレクションの意味と工芸品にかかわった人々の姿を探る。 978-4-634-64059-7

ウィルソン

世界史リブレット人74
長沼秀世著
A5変型判 108頁(予) 840円 山川出版社〔10月刊〕

大戦への参戦と戦後の国際社会の動きの中でアメリカの地位向上に奔走したウィルソンを国内・国外の動きとともに追う。

978-4-634-35074-8

文化史文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活**京都はじまり物語**

森谷寛久著
四六判 224頁 1,575円 東京堂出版〔9月刊〕

京都文化・歴史・祭事・風俗等、京都研究の第一人者が、京都における「発祥物語」を紹介。意外な歴史的事実、知られざるエピソードが満載。 978-4-490-20841-2

日本思想史事典

石田一良・石毛忠編
菊判 528頁 5,985円 東京堂出版〔10月刊〕

古代から近現代まで、日本思想史上重要な用語と、思想史上重要な人物を厳選し解説。読みやすさを考慮して、1項目につき見開き2頁で解説。 978-4-490-10796-8

法然上人絵伝の研究

中井真孝著
A5判 470頁 9,975円 思文閣出版〔9月刊〕

知恩院本『法然上人行状絵図』の成立、絵伝諸本の個別研究をはじめ、百万遍念佛の歴史的展開を考察。法然上人伝記研究の基本文献として貴重な一冊。 978-4-7842-1694-9

新刊ニュース（文化史）

真宗民俗史論

蒲池勢至著

A 5 判 460頁 8,400円

法藏館〔9月刊〕

真宗の民俗とは何か。真宗門徒の葬送儀礼の実態、民俗学の視点からみた名号と御文、寺檀関係、蓮如伝承など、真宗門徒の信仰生活を解き明かす長年にわたる調査・研究の成果。

978-4-8318-6225-9

中国佛教史研究

隋唐佛教への視角

藤善眞澄著

A 5 判 560頁 13,650円

法藏館〔10月刊〕

隋唐佛教史および歴史地理学・日中関係史の分野において幅広い業績を遺した著者が、六朝から唐代にかけての仏教の制度や政治・文化などを解明。

978-4-8318-7285-2

中近世京都の祭礼と空間構造

御靈祭・今宮祭・六斎念仏

本多健一著

A 5 判 298頁 10,500円

吉川弘文館〔9月刊〕

御靈祭・今宮祭・六斎念仏の実態と変遷を解明。上京や西陣、都市郊外の祭礼の空間構造を探求し、京都祭礼文化史の全体像を構築する。

978-4-642-02915-5

天才と異才の日本科学史

開国からノーベル賞まで、150年の軌跡

後藤秀機著

四六判 420頁 2,625円

ミネルヴァ書房〔9月刊〕

幕末から現代まで、戦争や国境を乗り越え、道を切り拓いてきた科学者たちの苦闘と歓喜の足跡から綴る、知られざる近現代日本科学史。

978-4-623-06682-7

家持と恋歌

塙選書117

小野寺静子著

B 6 判 176頁 2,100円

塙書房〔10月刊〕

万葉の歌人・大伴家持の多様な恋歌を、①互いに交わしたうた、②家持へのうた、③家持からのうたに大きく分け、古代の恋歌に込められた家持の思いにせまる。

978-4-8273-3117-2

「写し」の力

創造と伝承のマトリクス

島尾 新・彬子女王・亀田和子編

A 5 判 270頁 4,200円

思文閣出版〔10月刊〕

東アジア美術史の諸事象を、「オリジナル」対「写し」という二項対立に縛られることなく、「作ること」「写すこと」を含む全体的な価値システムのなかで捉え直す。

978-4-7842-1711-3

岩波茂雄

低く暮らし、高く想ふ

十重田裕一著

四六判 332頁 2,940円

ミネルヴァ書房〔9月刊〕

本書は、岩波書店を創業した岩波茂雄の評伝である。農家の子として生まれ、一高時代の人脈をもとに出版社を創業、大正・昭和期に講談社と並ぶ出版文化を築き上げた人物の足跡を改めて振り返る。

978-4-623-06735-0

アメリカ〈主婦〉の仕事史

私領域と市場の相互関係

森 果著

A 5 判 400頁 6,825円

ミネルヴァ書房〔9月刊〕

本書は、アメリカにおける主婦の役割や家事内容の変化、主婦をめぐる社会・経済状況を植民地時代から現代まで描き出す。アメリカが世界の中で先陣を切って「女性の社会進出」の流れをつくるに至るまでの歴史を〈主婦〉から辿る一冊。

978-4-623-06676-6

女性官僚の歴史

古代女官から現代キャリアまで

総合女性史学会編

A 5 判 208頁 2,835円

吉川弘文館〔10月刊〕

女官・奥女中・キャリアなど、古代から現代まで形を変え活動した歴史を解明。女性と社会をめぐる今日的課題の解釈を探る。

978-4-642-08097-2

学校の怪談

口承文芸の展開と諸相

常光 徹著

四六判 418頁 2,940円

ミネルヴァ書房〔9月刊〕

「学校の怪談」をはじめ、子どもたちが創り出している豊かな〈はなし〉を聞き集め、考察を加える。その他さまざまな昔話や、伝説、俗信に関する論文を一冊にまとめた、口承文芸研究の決定版が新装版として待望の復刊。

978-4-623-06780-0

アイヌ語の世界

田村すゞ子著

A 5 判 288頁 12,600円

吉川弘文館〔9月刊〕

文法・系統・口承文学を平易に解説する。金田一京助らアイヌ語研究者の思い出も収め、日本列島の言語に関心をもつ読者必読の書。

978-4-642-08525-0

伝記

真実に悔いなし

親鸞から俾弥呼へ日本史の謎を解説して

古田武彦著

四六判 450頁 3,150円 ミネルヴァ書房〔9月刊〕

邪馬臺国説・九州王朝説を発表、その精緻な論証で、歴史学に新たな風を吹き込んだ歴史研究者・古田武彦。学界からの無視、いわれなき誹謗中傷との苦闘を越え、ひたすら学究に邁進してきたその生涯を語り尽くす。978-4-623-06752-7

八木秀次

人物叢書275

沢井 実著

四六判 288頁 2,310円

吉川弘文館〔10月刊〕

地上波放送の受信用として世界中で使われる「八木・宇田アンテナ」の発明者。後発工業国日本の近代化に挑んだ一科学技術者の生涯。

978-4-642-05268-9

地理

歴史の旅 古代大和を歩く

和田 萃著

A 5 判 228頁 2,940円

吉川弘文館〔10月刊〕

豊富な写真と味わい深い文章で、ヤマトタケル、三輪山の神など、記・紀の伝承や土地の歴史を描く。時空を旅するガイドブック。

978-4-642-08095-8

雑誌

日本歴史

10月号（第785）＝9月刊
11月号（第786）＝10月刊

日本歴史学会編集

A 5 判 146頁 各780円 吉川弘文館〔9・10月刊〕

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料8,300円〔送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い16,000円〔送料込〕

三年間前払い23,500円〔送料込〕

学生・院生 一年間5,000円〔送料込〕

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴史書以外の――

人文社会図書新刊案内

2013. 9 · 10

—明石書店—

感情の社会学理論 ジョナサン・H・ターナー著	四六判	6,800円	8月
ナチス時代の国内亡命者とアルカディア 三石善吉著	四六判	3,200円	8月
シリア・レバノンを知るための64章 黒木英充著	四六判	2,000円	8月

—汲古書院—

六朝寒門文人鮑照の研究 土屋 聰著	A5判	6,300円	10月
近世雅文壇の研究 盛田帝子著	A5判	11,550円	10月

—思文閣出版—

老僧が語る京の仏教うらおもて 五十嵐隆明著	四六判	945円	9月
紙—昨日・今日・明日 日本・紙アカデミー25年の軌跡 日本・紙アカデミー編	A5判	2,100円	9月
名庸集 中本 大編	A5判	39,900円	9月
正倉院染織品の研究 尾形充彦著	B5判	21,000円	9月

—ミネルヴァ書房—

村上春樹 読める比喩事典 芳川泰久・西脇雅彦著	四六判	2,940円	9月
社会関係資本 三隅一人著	四六判	3,360円	9月
模倣と創造のファッショントランセンド 田中修著	A5判	3,675円	9月
環境と人間のための経済学 相沢幸悦著	四六判	3,360円	9月
巨大災害のリスク・コミュニケーション 矢守克也著	A5判	3,675円	9月
ケアと人間 西平 直編著	A5判	3,675円	9月
福祉と労働・雇用 滝口桂一郎編著	B5判	2,940円	9月
激流に立つ台湾政治外交史 井尻秀憲著	四六判	3,675円	9月
小室直樹の世界 橋爪大三郎編著	四六判	2,625円	10月
社会システム 生天目章著	A5判	4,410円	10月
イギリスに学ぶ商店街再生計画 足立基浩著	四六判	2,520円	10月
変貌する日本のコンテンツ産業 河島伸子・生稻史彦編著	A5判	8,400円	10月
ドイツにおける原子力施設反対運動の展開 青木聰子著	A5判	6,300円	10月

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

◆月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ」の連続ミニフェアを下記の5書店で開催中です（かっこ内の数字はフェア開始の日付）。

◇天童市 TENDO 八文字屋（2006年7月）／◇新潟市紀伊國屋書店新潟店（2007年8月）／◇松江市今井書店グループセンター店（2008年6月）／◇さいたま市ブックデボ書楽（2009年9月）／◇新宿区芳林堂書店高田馬場店（2010年4月）

◆今年は5月の出雲大社、10月の伊勢神宮で行われた遷宮に因んで、下記の書店さんでフェアを開催しました。ありがとうございました。

仙台市ジュンク堂書店仙台本店／新潟市ジュンク堂書店新潟店／千代田区三省堂神保町本店／千代田区丸善丸の内本店／中央区八重洲ブックセンター／大阪市喜久屋書店阿倍野店／西宮市ブックファースト阪急西宮ガーデンズ店／米子市本の学校今井ブックセンター／松江市今井書店グループセンター店／松江市今井書店殿町店／松江市今井書店学園通り店／松江市今井書店シャミネ店／出雲市今井書店出雲店／出雲市今井書店ゆめタウン出雲店／福岡書齋りーぶる

◆OECDが初の国際成人力調査（24か国で実施）の結果を発表した。日本は調査対象3分野のうち読解力と数的思考力で1位だった。残る1分野の「ITを活用した問題解決能力」は平均並みで10位。ニュースは「学校教育の段階から積極的にITに親しむ環境づくりが急務」と結ばれた。ちょうどその朝のTVで、子供たちの「いじめ」の深刻さが報じられていた。ネットを使った陰湿ないじめも話題になっており、成長しきっていない子供たちの心の教育を求めていた。この二つのニュースは、こんな風に考えられないだろうか？　日本文化の中で培われてきた「考える力」が世界第1位の読解力や、数的思考力となって現れた、と。他方で、ITを操る能力は要するに道具を使う能力だ。道具がうまく使えても「考える力、いじめがどんなに卑劣な事かを理解できる力」がなければ、本来の「大人」とは言えないのではないか。人間として未熟なままで、IT能力だけ身に付けた子供たちがふえているからこそ、陰湿なネット経由のいじめが多発している現状を考えれば、これからの日本で必要なことは、いたずらにITに親しんで、ものを考える基本が身につかない子供を増やすことではないと思う。ここで言いたいことは、ITより先に、先ず本を読み、考える習慣を身に付けること、これこそ学校教育で優先的に環境を整える事ではないだろうか。

因みにIT関連の機器は日々改良されており、より簡単な操作で使えるようになっている。IT専門家を目指すのになれば、必要になってから使い方を学べば十分に間に合うはず。私自身の体験から申し添えます。（FN）

歴史書懇話会特設店

ジュンク堂書店	仙 台 本 店	〒980-0021 仙台市青葉区中央4-4-1 仙台イービーンズ 3・5・6・7F ☎022-716-4511
岩瀬書店	富久山店	〒963-8051 郡山市富久山町八山田 字大森新田36-1
煥乎堂	本 店	〒371-0023 前橋市本町1-2-13 ☎027-235-8111
須原屋	本 店	〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-3-20 ☎048-822-5321
岩波ブックセンター	信山社	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3 ☎03-3263-6601
東京堂書店	神田神保町店	〒101-0051 千代田区神田神保町1-17 ☎03-3291-5181
芳林堂書店	高田馬場店	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-26-5 F I ビル ☎03-3208-0241
ジュンク堂書店	池袋本店	〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-15-5 ☎03-5956-6111
有隣堂	本 店	〒231-0045 横浜市中区伊勢佐木町1-4-1 ☎045-261-1231
Booksなかだ	本 店	〒939-8212 富山市掛尾町180-1 ☎076-492-1192
うつのみや	柿木畠本店	〒920-0962 金沢市広坂1-1-30 ☎076-234-8111
平安堂	長野店	〒380-0825 長野市末広町1355-5 ☎026-224-4550
精文館書店	本 店	〒440-8517 豊橋市広小路1-6 ☎0532-54-2345
ちくさ正文館	本 店	〒464-0075 名古屋市千種区内山3-28-1 ☎052-741-1137
ジュンク堂書店	京都店	〒600-8005 京都市下京区四条富小路角 ☎075-252-0101
ジュンク堂書店	大阪本店	〒530-0003 大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ1~3 F ☎06-4799-1090
ジュンク堂書店	千日前店	〒542-0075 大阪市中央区難波千日前12-7 Y. E. S. N A M B A ビル ☎06-6635-5330
ジュンク堂書店	三宮店	〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-6-18 ☎078-392-1001

フタバ図書	T E R A 広島府中店	〒735-8588 広島県安芸郡府中町大須2-1-1 ダイヤモンドシティ・ソレイユ ☎082-561-0770
りーぶる	天 神	〒810-0001 福岡市中央区天神4-1-18 サンビル1F ☎092-713-1001
ジュンク堂書店	福 岡 店	〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-13 天神 MMT ビル ☎092-738-3322

2013年10月現在

歴史書懇話会ホームページ

<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>

歴史書懇話会会員社ホームページ

青木書店	http://www.aokishoten.co.jp/
明石書店	http://www.akashi.co.jp/
校倉書房	http://www.azekurashobo.com/
汲古書院	http://www.kyuko.asia/
思文閣出版	http://www.shibunkaku.co.jp/
東京大学出版会	http://www.utp.or.jp/
東京堂出版	http://www.tokyodoshuppan.com/
刀水書房	http://www.tousuishobou.com/
同成社	http://homepage3.nifty.com/douseisha/
塙書房	http://www.hanawashobo.co.jp/
法藏館	http://www.hozokan.co.jp/
ミネルヴァ書房	http://www.minervashobo.co.jp/
山川出版社	http://www.yamakawa.co.jp/
吉川弘文館	http://www.yoshikawa-k.co.jp/

歴史書懇話会とは

1968年6月に歴史書を刊行する有志出版社7社で結成され、現在16社が加盟しています。結成以来40年余「すぐれた歴史書の普及とその販売を積極的に推進する。本会はその目標達成のため、会員相互の協力によって必要な研究ならびに事業を行う。」(会規約)の精神に基づき活動しています。

〈歴史書懇話会〉の主な事業

「歴史書通信」(隔月刊) 最新の歴史書情報を提供しています！

会員各社の新刊・重版情報、誌上フェア、書店情報を掲載する出版情報誌。歴史関連のエッセイなども掲載し、歴史知識の普及をはかっています。ご購読を希望される方は最寄の書店を通して、事務局までお申込み下さい。

「歴史書ベストフェア」小規模書店にも本格派の歴史書を！

全国約180書店で会員社の歴史書80冊余を1年間展示販売しています。選択セットを加え、最大規模は190冊のセットとなります。出品リスト及び販売店一覧は「歴史書通信」5月号に掲載します。

「特設店」全国に21拠点、専門書の充実した品揃えが魅力です！

特設店を設けて、歴史専門図書の店頭展開をはかっています。現在、全国主要都市に21店の特設店があり、一般書店では展示販売できない歴史専門書の店頭販売に協力をお願いしています。特設店では多くの新刊・常備品を揃えるとともに、テーマフェア、各社フェアを随時開催しています。

「歴懇リバイバル」毎年秋の復刊書フェアとしてご好評いただいています。

毎年5月に統一復刊・重版事業「歴懇リバイバル」を実施しています。一社では困難な専門書の復刊・重版を共同で行う活動です。読者から要望の多い名著や基本図書を復刊し、特設店を中心に毎年100店近い書店・大学生協で店頭フェアを開催しています。

「ホームページ」と「メール通信」による情報発信

当会のホームページでは、新聞書評情報、歴史書の検索、書店フェアや各社の新刊案内、特設書店とのリンク、歴史書懇話会からメール通信を配信するメールアドレス登録の受付、「歴史書通信」PDF版などを掲載しています。メール配信のお申込みは<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>からお願いします。

会員社 青木書店・明石書店・校倉書房・学生社・汲古書院・思文閣出版・新人物往来社・東京大学出版会・東京堂出版・刀水書房・同成社・塙書房・法藏館・ミネルヴァ書房・山川出版社・吉川弘文館

歴史としての

東日本大震災

口碑伝承をおろそかにするなかれ

好評!

歴史としての
東日本大震災



岩本由輝編（執筆者）岩本由輝・河野幸夫・菊池慶子・佐々木秀之

東北に暮らす歴史家三人と科学者が、体験をもとに大震災を歴史の中的位置づける。シミュレーションによる「安全神話」より、地元の言伝えの方が、はるかに人々の身を守る知恵になっていたことを、史料を駆使し検証

A5 一四〇頁 ¥二三〇

十字軍の歴史

A・ジョディ・イシュキーヘ著／森田安一訳（刀水歴史全書86）

*十字軍はどのように展開したのか？その理論と実践は？ *十字軍はどのように計画され実施されたのか？ *十字軍はなぜ中世社会そのものなのか？ *本書が解明かず、ヨーロッパは中世最大のテーマ

四六 四五〇頁 ¥三九九、

四六 四五〇頁 ¥三九九、

中世ヨーロッパから現代アフリカまで、魔女の世界史

W・ペーリンガード著／長谷川直子訳（刀水歴史全書87）

*魔女狩りはキリスト教だけに限らない *魔女の殺害は過去の問題だけではなかった！ *世界人口の大半が今も魔術を信じているだろう！ *魔女や魔女狩りは人類の歴史の中で未だ完結していない。近年の研究に基づく新しい魔女論！

四六 四五〇頁

四六 四五〇頁 ¥三六七五

ドイツの歴史百話

坂井築八郎著（刀水歴史全書84）

好評！

ドイツの歴史百話

坂井築八郎著

ドイツの

中世都市研究⑯ 中世都市から城下町へ

中世都市研究会編

A5判 296頁 3780円

中世都市はいかにして近世城下町への変貌を遂げたのか。空間構造、ネットワーク、権力などをキーワードに都市の本質に迫る。2012年大阪大会の報告と討論。

山川歴史モノグラフ 27

維新変革と儒教的的理想主義

池田勇太著

A5判 320頁 5250円

明治維新的うち、領主制の解体や人民統治の変革などを推進した人びとがいかなる考え方もとにこれを進めたのか、またその問題点はなにかを論じる。

世界史リブレット人 A5判変型 各840円

62 ナ・ボレオン——英雄か独裁者か

上垣豊著

ヨーロッパがフランス革命で揺れるなか登場した将軍ナボレオン。近代世界の揺籃期における「英雄」の事業を、当時の国際状況や背景を通してとらえ直す。

74 ウィルソン——国際連盟の提唱者

長沼秀世著

第1次世界大戦への参戦と戦後国際社会のなかでアメリカの地位向上に奔走したウィルソンを、国内外の動きとともに追う。

二ユースがわかる 世界各國ハンドブック

2014年版

山川歴史手帳

735円

モンゴル帝国の軍隊と戦争

川本正知著

A5判 272頁 3150円

13世紀ユーラシア大陸に出現したモンゴル帝国。大モンゴルウルスという集団とその定住民支配のあり方から、遊牧民の築いた帝国の実像を明らかにする。11月刊行

19世紀フランス社会経済史

小田中直樹著

A5判 272頁 4725円

「ガバナンスの正統性」と「つくられるイメージ」に着目し、近代社会へと移行する19世紀フランスの政治構造を、農村部民衆の動向から解説する。11月刊行

フランス革命史の現在

山崎耕一・松浦義弘編

A5判 280頁 3150円

200余年さまざまに論じられてきたフランス革命。世論・暴力・宗教・教育から明治維新との比較にいたるまで、日本の革命史研究の先端を示す。11月刊行

東京都千代田区内神田 1-13-13
電話 03-3293-8131 <http://www.yamakawa.co.jp>

(表示は税込み)

山川出版社

歴史書懇話会

会員社名簿

- 青木書店 175-0092 板橋区赤塚8-12-12(板橋営業所)〈休会〉
TEL. 03-5997-4051 FAX. 03-5967-7691
- 明石書店 101-0021 千代田区外神田6-9-5(担当者・曾我隆一)
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1180
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田1-1-3(担当者・石田亘)
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 汲古書院 102-0072 千代田区飯田橋2-5-4(担当者・宮崎淳)
TEL. 03-3265-9764 FAX. 03-3222-1845
- 思文閣出版 605-0089 京都市東山区古門前通大和大路東入元町355(担当者・井熊勇介)
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 東京大学出版会 113-8654 文京区本郷7-3-1(東大構内)〈休会〉
TEL. 03-3811-8814 FAX. 03-3812-6958
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町1-17(担当者・鈴木淳)
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田2-4-1(担当者・中村文江)
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋4-4-8(担当者・榎祐典)
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 培書房 113-0033 文京区本郷6-8-16(担当者・岡口守俊)
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入(担当者・西村明高)
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- ミネルヴァ書房 [本社] 607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1
TEL. 075-581-0296 FAX. 075-581-0589
[東京支社] 101-0052 千代田区神田小川町2-4-17 大宮第一ビル6F
TEL. 03-3296-1615 FAX. 03-3296-1620(担当者・杉田信啓)
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田1-13-13(担当者・大壽賀翔)
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷7-2-8(担当者・春山晃宏)
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2013年11月1日発行・第210号

発行 歴史書懇話会

〒113-0033 文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店